

授業科目名 <英訳>		中毒学入門 Introduction to Toxicology		担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 准教授 原田 浩二 医学研究科 教授 小泉 昭夫					
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2016・ 前期	曜時限	水4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語

### [授業の概要・目的]

#### I. コースの概要

化学物質の健康影響を考えると、「正」の面である薬と「負」の面である毒がある。本コースでは、環境汚染物質や身近にある金属、有機物質の毒性を有名な事件や古典を題材として考察し、初級中毒学を学ぶ。本年度は、984年に丹波康頼により書かれた、医学書の最高傑作といわれる「医心方」を「学び」の教材として扱い、本書に記載された中毒現象を考察する。「医心方」の読解は、人文研の武田時昌教授より指導を受ける。文系・理系を問わず、お互い融合して、題材を取り扱っていく。予習の必要はありませんが、高校化学の知識は必要です。題材から事件を推理するのではなく、現代化学文明の獲得した利便性の、ヒト健康に及ぼす負の作用を考えます。ケーススタディをもとに、薬物、毒物の影響を教授しますが、自らも考え、積極的に意見発表を行ってください。

### [到達目標]

#### II. 学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること）

- ・医学書として「医心方」に触れることで医学史を学ぶことができる
- ・化学物質の毒性を知ることができる
- ・医療社会学を学ぶことができる
- ・毒物に関して、症状から文献検索ができる。
- ・症状と経過から毒物を予想できる。中毒学の基礎を知ることができる

### [授業計画と内容]

#### コース予定・内容

- 第1回 4月13日オリエンテーション
- 第2回 4月20日医心方を読む-(1) 概説・読み方（武田）
- 第3回 4月27日インスリン殺人事件(小林)
- 第4回 5月11日産業による環境汚染物質～水俣病、エコトキシコロジー(原田)
- 第5回 5月18日ハチが消えた。ネオニコチノイド農薬（原田）
- 第6回 5月25日アルコールの毒性と遺伝(小泉)
- 第7回 6月1日医心方と現代医療、治療薬としての砒素(武田・小林)
- 第8回 6月8日「霊枢」瘰癧編 寒冷と痛み そのメカニズム（小林・趙）
- 第9回 6月15日麻薬の毒性、大麻と肥満(原田)
- 第10回 6月22日地下鉄サリン事件、有機リン化合物と拮抗剤(小林)
- 第11回 6月29日トリカブト殺人事件(小泉)
- 第12回 7月6日生薬から生まれた現代医薬(小泉・草川)
- 第13回 7月13日医心方を読む-(2) グループディスカッション
- 第14回 7月20日医心方を読む--(3) グループディスカッション・講評
- 第15回 7月27日予備日（講義内容未定）
- 試験 8月3日

中毒学入門(2)へ続く↓↓↓

## 中毒学入門(2)

### [履修要件]

MPH選択、環境衛生学分野必修

### [成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点（出席と質問等の積極性を含む）50%、試験50%

### [教科書]

講義中の配布資料

### [参考書等]

(参考書)

### [授業外学習（予習・復習）等]

III. 教育・学習方法

- ・パワーポイントスライドによる講義
- ・適宜、ビデオやスライドを使用します

### (その他（オフィスアワー等）)

その他メッセージ

後期の「中毒学」および「On the Bench Training」を受講するためには、この講義を受講することが必須です。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限10人まで可能

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。